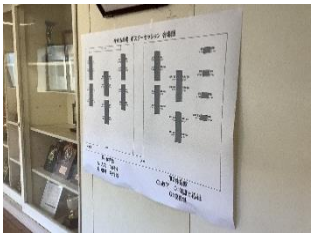
総合的な探究の時間

令和6年度地域探究校内発表会　対象:2学年・1学年生徒全員　令和6年11月21日(木)5・6・7校時

11月21日(木)5・6・7校時に第1・第2体育館を使い、令和6年度ポスターセッションが実施されました。探究したい内容が似ている2学年の生徒同士で2～6名のグループ【普通科41グループ、理数科7グループ】を作り、テーマの仮説検証をしてきました。夏休みには、事業所(市役所、産業産業技術センターなど)を訪問してフィールドワークを行ったり、Google クラスルームを使いアンケート調査を行うなど、それぞれ8ヶ月かけて取り組み、ポスターにまとめ、口頭での発表です。参加者は、自由に見まわることができ、直接質問することも可能です。研究テーマを見てみると今年度は、地域に密着したバラエティーに富んだテーマが多くありました。5・6校時は、2学年とご協力いただいた近隣事業所の方や外部・本校の教員が発表を聞き、7校時は、1学年の生徒が興味関心のある探究テーマポスターのところに行き、メモをとりながら話を聞いていました。相手が理解しやすいように発表者がタブレットなどを使ったりして、創意工夫していました。外部の方からは、発表が具体例などを交えて、分かりやすいなどの評価もありました。



【1年生の感想】

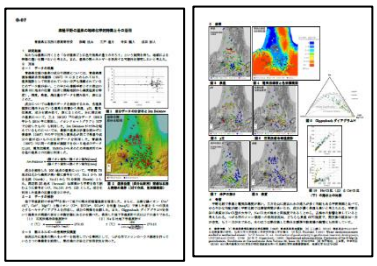
●十三湊が滅んだ理由には仮説がたくさんあるそうで、はっきり分からないことで、より知りたくなりました。発表者の伝えたいという意志が伝わってきました。

●学習内容を理解するには、グループワークの方がよいが、時間がかかる。良い授業とは、授業に参加している私たちがもっと授業を大事にするべきだと分かりました。

●ガイドブックを実際に作って、渡してくれたので、他の班にはない、独自の活動を行なっていていいなと思いました。

●なぜすぐにスマート農業に移行できないのかがよくわかりました。ポスターにすべて書くのではなく、説明で補足を加えることによってグラフを大きくして見やすくできることがわかりました。

●温泉はどこも同じように感じていたけれど、地域によって成分や質が異なり、それには地理的な理由があったことを知ることができた。熱エネルギーを他のことに利用する上での仕組みが気になった。

普通科

理数科